

本文149行(4130字)

(8枚x30字)
150x212
縦向309キ

20	13	1
20	13	1

21	21
21	21

13行24キ

①

草創記

32a

佐川英三

三
24a

日本未来派 一七四号の編集後記に、本

誌は東年、創刊四十周年を迎える。池田克己

の形大な熱量と軸として戦後の荒廃のなにか

ら出元して四十年、その間にはいろいろの曲

折があり、創刊当初からたけどはなく、十年

二十年前から見ても人も誌面も大幅に変った

現存の創刊同人も、小野十三郎、佐川英三の

お二人だけである。去々の記事と読んで、い

ささか感慨深いものがあつた。全くそのとお

りなのだが、特に創刊同人が二人になつたこ

とを指摘され、惘然となつた。今日只今同人

のなかで、創刊者池田克己の顔と覚る者

か何人いるだろうか。

しかし前記の記事は必ずしも正確ではな

ハ森林太郎の名が落ちているのである。ハ森林

は作品の数も少く、詩壇的には池田克己の踏

石になつた感があるか、当時彼が居なかつた

なりは、如何と池田の熱情をもつてし